

2019年度 公益目的支出計画事業 社会調査法研修 「コミュニティの課題解決における社会調査の実践」 ～量的調査手法を活用した課題抽出と調査案の策定～

地域の活性化や課題解決を目的に 社会調査の実践的な活用法の習得を目指します！

地域やコミュニティが直面している課題は多種多様であり、何から解決していくべきか、また、それらは解決することができるのか（もしくは、今、解決すべきなのか）、という議論に直面していませんか？社会調査は、そうした状況において有用な意思決定ツール（手段）となります。

地域やコミュニティへのアプローチは、国際協力事業だけでなく、日本国内の地方創生の流れのなかでも様々な取組が行われています。それぞれの経験を交換、共有すべく、本研修では日本の事例を中心に用い、地域の課題解決を目的とした社会調査の活用法を学びます。

- 日時： 2019年7月30日（火）、31日（水） 9:30～16:30
- 講師： 濱野 強氏 / 京都産業大学現代社会学部教授・島根大学地域包括ケア教育研究センター 客員教授
塩谷 芳也氏 / 京都産業大学現代社会学部助教
- 場所： FASiDセミナールーム（東京都港区麻布台）
- 対象： （国内外問わず）地域振興、地域やコミュニティの課題解決を目的とした活動/事業に従事されている方、または今後従事したいと考えている方。
- 参加費： 17,000円（税込）、法人賛助会員・FASiDフレンズは 13,600円（税込）
- 定員： 20名程度
- 応募締切： **2019年7月26日（金）12:00（正午）※**
※延長しました。

内容詳細（予定） 都合により、若干変更される可能性があります。

| 日時 | 形式 | 内容 |
|-------------------------------|-----------------------------|---|
| 7/30 (火) 9:30- 16:30 | 講義/ グループワーク/ ディスカッション | 9:30- 9:50 事務局からの連絡・研修の目的・ゴールの確認 9:50-10:20 グループ分けと自己紹介・アイスブレイク 10:20-12:00 社会調査の基礎を学ぶ（講義・グループワーク） 「なぜ社会調査を行うのか」「社会調査法の概要」について学ぶ 12:00-13:00 <昼休憩> 13:00-14:25 事例に基づく地域課題の抽出（グループワーク） 14:45-15:40 地域課題の抽出に関するグループ発表（グループワーク） 15:40-16:20 社会調査設計の議論をより良く進める方法（講義） 16:20-16:30 本日の振り返りと明日の説明 |
| 7/31 (水) 9:30- 16:30 | 講義/ グループワーク/ ディスカッション | 9:30- 9:40 本日の流れの説明 9:40-10:00 社会調査の結果のまとめ方（講義） 10:00-12:00 社会調査の企画案の作成（グループワーク・講義） 12:00-13:00 <昼休憩> 13:00-15:30 調査企画案の発表とブラッシュアップ（グループワーク） グループで作成した調査企画案を発表し、質疑応答を通して調査企画の 作成方法を理解する。 15:30-15:50 社会調査において考慮すべき点（講義） 想定されるリスクと解決策について検討 15:50-16:10 地理情報（RESAS*を中心に）紹介（講義） 16:10-16:20 本研修のまとめ 16:20-16:30 振り返りシートの作成 |

*RESAS:地域経済分析システム

講師プロフィール

濱野強氏 / 京都産業大学現代社会学部 教授・島根大学地域包括ケア教育研究センター 客員教授

専門は、健康社会学、公衆衛生学。中山間地域をフィールドとして、社会資源が限られた地域の課題解決に関する調査研究に従事。活動成果の一部は、日本農村医学会研究奨励賞を受賞。2017年から京都産業大学現代社会学部で地域課題解決型の学生教育の企画・運営に携わる。研究関連著作には、『社会学』（第1編 第7章「社会調査」を担当）（メチカルフレンド社、2007）、監訳書『ソーシャル・キャピタルと健康』（日本評論社、2008）などがある。

塩谷芳也氏 / 京都産業大学現代社会学部 助教

専門は、計量社会学、社会階層論。労働市場における選抜と格差の生成について、ソーシャルスキルやパーソナリティ等の非認知スキルに着目した研究を実施。日本学術振興会特別研究員（DC2、PD）等を経て、2017年から京都産業大学現代社会学部に着任。社会調査実習や多変量解析実習を担当。研究関連著作に、『計量社会学入門 社会をデータで読む』（共著）（世界思想社、2015）などがある。社会調査士、専門社会調査士。

参考文献

1. 轟亮、杉野勇（編）『入門・社会調査法 [第3版] —2ステップで基礎から学ぶ』法律文化社、2017年

応募方法詳細

■ **応募方法**：オンライン応募フォームよりご応募下さい。下記URLへアクセスし、「応募フォーム」ボタンをクリックしてください。 https://www.fasid.or.jp/business_management_course/5_index_detail.php

応募締切後2営業日以内に、応募者ご本人様へメールにて受講の可否および受講料の支払い方法等についてご連絡します。なお、受講費をお支払いいただいた後の受講辞退につきましては、事務手数料5,000円と、当財団による振込手数料(実費)を差し引いた額を返金いたします。なお、研修当日の辞退につきましては、受講費全額をお支払いいただきます。

■ お問い合わせ先：

一般財団法人 国際開発機構 (FASID)
人材開発事業部 担当：原田・山本 還
電話：03-6809-1996 /Email：srm-cmty@fasid.or.jp
住所：〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5
メソニック39MTビル6階
<http://www.fasid.or.jp>



■ 研修会場：

一般財団法人 国際開発機構 セミナールーム
東京メトロ日比谷線 神谷町駅 2番出口より徒歩6分
都営大江戸線 赤羽橋駅 中之橋口/赤羽橋口より徒歩7分
都営三田線 御成門駅 A1出口より徒歩10分

FASIDメール自動配信サービスのご案内



FASIDからの最新情報をEメールで受け取ることができる無料配信サービスがあります。Eメールアドレス、氏名等を登録いただくと、FASIDからの最新情報が送信されます。登録の解除、受信メールアドレスの変更も簡単に行うことができますので是非、ご活用下さい。

詳細は、[こちら](#)↓をご覧ください。

https://form.fasid.or.jp/mailservice/user_contents.php